

# 清泉女子大学発展協力会

## 活動のご報告

2021年6月



「新型コロナウイルス感染防止に係る学生支援」を行っております。  
皆様のご支援をお願い申し上げます。

発展協力会会長挨拶	2	2021年度寄付金の使途予定	5
【学生の報告】学業奨励奨学金	3	2020年度寄付金の使途	6
【教員の報告】新型コロナの中での授業	4		

発展協力会事務局

Tel 03-3447-5551

Email [hatten@seisen-u.ac.jp](mailto:hatten@seisen-u.ac.jp)

<https://www.seisen-u.ac.jp>

平素は発展協力会の諸活動にご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

### 2020年度の活動を振り返って

2020年度は、新型コロナのために登校できない場合でも学びの機会が失われることのないように、「オンライン授業のための自宅学修環境の支援」と、困窮する学生に対する「生活面の支援」を新たな使途に加えてご寄付を募ってまいりました。

おかげさまで、卒業生の皆様をはじめ、多くの方々から温かなご寄付をいただき、支援を必要とする学生のニーズに応えることができました。ありがとうございました。

### コロナ禍での支援と安全なキャンパスへの願い

また、様々な学内行事が中止や延期または見直しとなるなど、教職員にとっても厳しく悩ましい日々が続いておりますが、皆様からの温かなご支援に大変勇気づけられました。重ねて御礼申し上げます。

新型コロナに関わる学生支援は2021年度も続けてまいりますので、どうかご無理の無い範囲で引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

大学は学びの場であると同時に、学生にとって大切な社会的交流の場でもあるという側面も見逃せません。新型コロナの収束が依然として不透明な状況であることに変わりはありませんが、何とかして安全なキャンパスを実現し、

以前のような友人や教職員との交流、クラブ・サークル活動等が行えるような環境を1日も早く整えるべく、大学関係者全員が腐心しております。

### 危機の中でも希望を見出すこと

聖ラファエラ・マリアの霊的手記の中に、「思いがけない出来事は、人生の妨げと見るのではなく、むしろ、弾みと見るべきだ。」という言葉があります。神への祈りの言葉の一部分ですが、当時、困難に耐えながら、危機を乗り越え目的に向けて突き進んでいく聖ラファエラ・マリアの強さを感じられます。

今日のコロナ禍の中で生きていく私たち、また、将来様々な事態に直面するであろう私たちにとり、この聖ラファエラ・マリアの言葉はとともふさわしく、大変励まされます。

こうした時代に、清泉の学生誰もが未来を閉ざされること無く羽ばたいていけるよう、発展協力会は大学と共にいろいろな学生支援を行ってまいりますので、どうぞ、今後とも卒業生をはじめとする皆様の変わらぬお力添えのほど、よろしくお願い申し上げます。

発展協力会会長

きょうづか  
経塚

じゅん  
淳



スペイン語スペイン文学科 4年 <sup>えびはら ほなみ</sup> 蛸原 帆奈海 さん

——今年が学生生活最後の年になりますが、これまでの大学での学びを振り返ってみて、いかがでしたか。

私は、高校の時に出会った大好きなスペイン語を極めようという目標を持って清泉に入学しました。どの授業も新しい発見に満ちていて、毎日楽しく過ごしています。特に、ガルシア・ロルカの作品を上演した、3年次のモヤノ先生の演劇の授業では、スペイン語の音や独特な文化の魅力に改めて気づき、多くの学びを得ることができました。今年度履修している「ゼミナール」では、教授法の変遷やそれぞれの特徴を学び、多角的な視点から効果的な外国語学習について研究しています。

また、スペイン語スペイン文学科が主催する、ネイティブスピーカーによるスペイン語会話特別クラス ¡Hablemos! にも毎週参加し、2年次に挑戦した弁論大会では、全国入賞を果たすなど、授業外でも語学力向上に励んできました。

——本奨学金をどのように活用したいと考えていますか。また、今後の目標についても聞かせてください。

今回いただいたご支援は、検定試験の受験料や参考書代だけでなく、スペイン語を通して世の中に貢献できる人材となることを目指し、自らの見聞を広めるためにも活用させていただこうと考えています。

今後は、地元で教員になることを目標に、引き続き知識を深め

るとともに、どのように学ぶか／教えるかに焦点を当てて学修に取り組んでいきたいと思っています。

——課外活動で取り組まれていることについても教えてください。

2年次から、教育系のNPO法人でインターンシップ活動をしています。高校生の探究学習支援やコミュニティづくりの他、昨年、新型コロナのために小中高が臨時休校となった期間を利用して、小学生向けにZoomでスペイン語講座などを行なってきました。

「人と向き合うこと」の難しさに悩むこともありますが、ゼミや教職課程の授業で学んだことを活かせる場面もあり、より学びと経験を深めることができています。

——最後に、後輩たちに向けて、チャレンジしておいた方が良いと思うことや学生生活におけるアドバイスなど、エールをお願いします。

私自身、コロナ禍で気持ちが塞ぎ込んでしまうことが多く、机に向かえない日もありましたが、「奨学金をくださった皆様のご期待に添えるよう頑張りたい」と、新たに心に火が灯るきっかけとなりました。発展協力会会員の皆様のご支援に心から感謝申し上げます。今後も清泉女子大学の一員としてより一層精進してまいります。



2019年全国スペイン語弁論大会（於：天理大学）での1枚。観光公害をテーマにスピーチを行いました。



2020年「スペイン語演習2」（担当：モヤノ先生）でのLa casa de Bernarda Alba上演後の集合写真（後列左端が蛸原さん）

### 文化史学科 准教授 井上 まどか 先生

#### ——オンライン授業時の学生の状況について聞かせてください。

まず、学生のPC・通信環境のことが心配でした。しかし、大学が迅速にPCを貸与して下さり、通信費・印刷費も補助していただきましたので、安心して授業を受けることができたと思います。実際、私のゼミの学生もその恩恵に浴しています。

また、レポートを執筆する際は、論文や図書が必須です。昨年度は公共図書館が長期休館することも多かったため、とりわけ卒論執筆中の4年次生からは、図書館所蔵資料の無料郵送サービスを利用させていただきましたという声が多く聞かれました。

#### ——オンライン授業の苦労や良かった点について教えてください。

PC画面越しのZoom授業は、一人ひとりの表情が読みとりづらいという難点がある一方で、利点もいくつかありました。

第一に、学生と教員双方の働きかけによって、授業の学習内容がより深まるという点です。これにはZoomのチャット機能(参加者が文字メッセージを送る機能)が大きな役割を果たしました。「質問はチャットにどうぞ、随時受け付けます」と呼びかけると、対面の時よりはるかに多くの質問が寄せられます。メッセージは教員個人宛にも送ることができるため、質問することへの心理的なハードルが下がるのかもしれない。学生にとっては、文字メッセージを送る行為が日常化していることも影響しているのでしょう。

一方、教員にとっても、何が学生に伝わっていないのか、どの点をより丁寧に解説すべきなのか、どのような問いを学生が発しているのかをリアルタイムで知ることができ、それは授業を運営するうえで大きな利点です。教員が授業時間内に応答することにより、学生は、比較的早く解消する疑問と、そうではない疑問があることに気づきます。後者は継続して考えていくべき重要な問いであり、授業後の自宅学習では、そうした問いにじっくり取り組むことが可能となります。コロナ収束後の対面授業においても、このような双方向性を確保できることが望ましいと思います。



第二に、オンライン授業には、様々な理由で通学や修学が困難な学生の支援につながる側面があるという点です。4年次を何年か経験したある学生は、Zoomチャットでの質問・意見など、活発に発言し、「在学中で一番勉強した年でした」と晴々とした表情で語り、今春卒業していきました。

どのような状況に困難を感じるかは、学生によって様々です。社会不安障害のため通学電車に乗るのが難しいという場合もあります。このような学生でも、オンライン授業であれば出席することも少なくありません。対面授業では欠席が続いていた学生が、オンライン授業には参加し、課題もきちんと提出するという姿を何度も目にしました。この授業形態が、学業継続や「出口」を見つけるきっかけになるかもしれない、という希望を抱いています。

#### ——最後に文化史学科について、一言お願いします。

文化史学科の教員全員が協力して、三冊の小冊子を作成し、昨年春から授業のテキストとしても用いています。これがきっかけとなり、興味を持ったさまざまなテーマを入口にして、「文化史学」という魅力的な学問の世界に入ってきてもらえたら、こんなに嬉しいことはありません。



今年度は、対面とZoomを組み合わせた授業に挑戦しています。



# 2021 年度寄付金の使途予定

2021 年度は寄付金の目標額を 800 万円に設定し、皆様からいただくご寄付は、主に下記の目的で活用させていただきます。

① 新型コロナウイルス感染防止に係る学生支援	120 万円
② グローバル人材育成のための支援金	150 万円
③ チャレンジ支援奨学金	140 万円
④ 学業奨励奨学金（成績優秀者表彰）	100 万円
⑤ キャンパスキャスト等への支援	70 万円
⑥ ボランティア支援	30 万円
⑦ ラファエラ・アカデミア受講サポート	10 万円
⑧ 発展協力会寄付講座	20 万円

## 新型コロナウイルス感染防止に係る学生支援について

2020 年度は、新型コロナウイルス感染症のため、前期は全授業がオンラインとなり、後期も大半の授業がオンラインでの実施を余儀なくされました。

2021 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止と学生の学修機会の確保を両立しつつ、教育・研究活動を行っていくという方針のもと、感染症対策を徹底し教室収容人数を絞った上で、一部科目を除き、原則として対面で授業を行います。

一方、2021 年度に入っても、いまだ新型コロナウイルス感染症の拡大状況に収束の兆しが見えないことから、従来から行っている、グローバル人材育成のための支援、チャレンジ支援奨学金、ボランティア活動支援などに加え、新型コロナウイルス感染防止に係る学生支援も引き続き行ってまいります。

また、寄付金額が支出実績を上回った場合には、通常、国際交流基金に充当しているところ、昨年度同様、新型コロナウイルス感染症に係る学生支援のための費用として充当させていただきます。

## ご支援のお願い

皆様からのご寄付は、従来から行っている学生支援や教育・研究活動の充実のための資金として活用させていただくとともに、新型コロナウイルス感染症に係る学生支援のための資金としても、有効に活用させていただきます。

皆様におかれましても大変な状況であることは重々承知しておりますが、こうした状況下における必要な学生支援でございますので、何卒ご賛同賜りますようお願い申し上げます。

お申込みは、①コンビニエンスストア、②ゆうちょ銀行・郵便局、③銀行振込、④インターネットなどの方法がご利用いただけます。

また、本学にご寄付いただいた場合には、税制上の優遇措置を受けることができます。お手続きの詳細につきましては、本学公式 Web サイトをご覧ください。

※本報告書に添えて送付させていただいた払込票の中には、あらかじめお名前、金額等が印字されたものがございますが、これは、コンビニエンスストアのシステムを利用するに際し、印字が必須とされていることによるものでございますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

なお、お電話または電子メールでご連絡いただければ、払込票の送付を中止させていただきます。

## 【インターネット寄付の受付システム】

<https://www.seisen-u.ac.jp/support/hatten/hatten.html>



## 2020 年度寄付金の使途

皆様からの温かいご支援により、2020 年度は 832 件、1,053 万 3,320 円のご寄付をいただきました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。これらの寄付金は、右記のとおり教育活動の支援等のために役立てさせていただきました。

①では、留学準備講座の受講料や TOEFL ITP、DELE、IELTS の受験料の補助などを行いました。③では、3 年次の成績優秀者各学科 2 名、計 10 名に対して 10 万円ずつ授与しました。②及び④～⑦については、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動そのものが中止等となったため、残念ながら実施することができませんでした。

⑧は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、急遽設けられました。寄付金額が支出実績を大幅に上回ったため、予定額を超える約 900 万円を、パソコンを持っていない等の学生へのパソコン

### 〈2020 年度寄付金の使途〉

① グローバル人材育成のための支援金	524,300 円
② チャレンジ支援奨学金	0 円
③ 学業奨励奨学金 (10 名)	1,000,000 円
④ キャンパスキャスト等への支援	0 円
⑤ ボランティア支援	0 円
⑥ ラファエラ・アカデミア受講サポート	0 円
⑦ 発展協定会寄附講座	0 円
⑧ オンライン授業環境整備のための学生支援金	9,009,020 円

の貸与、通信費・印刷費の給付、特別奨学金の支給、郵送での図書貸出などに活用することができました。

### 発展協定会 2020 年度醸出金明細表

(2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)

(単位：円)

個人会員								法人会員		合計	
(1) 本学に在籍した者		(2) 本学に在籍した者の父母及び家族		(3) 本学現旧教職員		(4) 一般の有志		件数	金額	件数	金額
件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額				
758	6,717,500	18	398,000	45	3,205,500	11	212,320	0	0	832	10,533,320

### 年度別寄付金額 (棒線グラフ) と寄付金件数 (折れ線グラフ)

